

令和4年度
広域産業振興局 事業実績

関西広域連合 広域産業振興局

関西広域産業ビジョン(将来像と関西経済活性化戦略)

関西が目指す将来像

世界の中で輝き、日本の未来を牽引する関西

国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、
イノベーションが生まれる地域

多様な人々が活躍・共生できる関西

多くの人々を引きつける、
豊かで持続可能な生活圏を形成する魅力ある地域

【目標】 2040年度の関西（広域経済圏）の

▶ 経済・産業の国内シェア25%

▶ GRP約1.8倍（2010年度比）の約180兆円

関西経済活性化戦略

【将来像と目標実現のために関西が当面（今後5年を見据え）、重点を置いて取り組んでいく3つの戦略】

【戦略1】関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化

【戦略2】高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援

イノベーションが
生まれる関西

【戦略3】個性豊かな地域の魅力を活かした地域経済の活性化

関西を支える人材の確保・育成

令和4年度 事業計画

《予算額：56,846千円》

○関西スタートアップ・エコシステムの推進(10,818千円)

- ・関西スタートアップのポテンシャルの発信強化

○ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて(9,510千円)

- ・ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化
- ・欧州ライフサイエンス企業とのパートナーングカンファレンスの実施【協調】
- ・医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施
- ・PMDA関西支部の活用促進【協調】

○グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて

(1,785千円)

- ・「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施
- ・エネルギービジネス推進事業【協調】

○新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備(12,087千円)

- ・関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築事業

○SDGsの達成に取り組む企業への支援(500千円)

- ・関西プラスチックごみゼロ推進事業

※上記の他、管理費410千円を計上

○ニューノーマル時代における企業の成長支援

(1,097千円)

- ・企業のICT化等の取組み推進に向けた情報発信機能の強化

○地域魅力の発信・マーケットの拡大支援

(6,742千円)

- ・ものづくりをはじめとする地域魅力の発信

○オール関西による企業の成長支援

- ・企業の成長支援機関の活用促進【協調】
- ・産学連携促進事業【協調】
- ・海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】

○人材の確保・育成施策の推進(1,474千円)

- ・人材検討会の運営
- ・「from NOW ON KANSAI」の発行

○情報発信機能の強化(650千円)

- ・広報活動の実施

○広域産業振興の取組にかかる評価・検証

(277千円)

- ・「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営

【協調事業(上記では「協調」と記載)

構成府県市・関係団体の事業を活用し、連携して実施する事業。

<関西広域連合域内・構成府県市>

産業振興分野に参画する滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

◇関西スタートアップのポテンシャルの発信強化

スタートアップは、革新的技術で経済活性化や社会課題の解決を通じて未来社会を創造する牽引役である。

国内外から「人・モノ・投資・情報」が集まり、自律的かつ持続的にイノベーションが生まれ、スタートアップが誕生・成長する関西の実現に向けては、多様なプレイヤーの共創や大学、研究機関等、知との融合がスムーズに図られる“スタートアップ・エコシステム”の推進が不可欠となる。

京阪神が国のスタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市として選定されたことは、オール関西のエコシステムの構築に向けた大きなアドバンテージである。

大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムと関西広域連合が連携し、域内の共通点や強みを活かし関西エコシステムのポテンシャルを世界に向けて発信することで、国内外のリソースを集め、スタートアップの成長環境を構築していく。



<実施内容>

- ▶域内スタートアップの情報収集・スタートアップDBへの登録
- ▶国内カンファレンスやピッチイベント等での情報発信
- ▶Crunchbase等の海外メディアへの情報発信
- ▶関西スタートアップ・エコシステムの情報発信イベントの開催
- ▶関西スタートアップ・エコシステムポータルサイトの運営 等

《目標》50社 《実績》205社

《目標》四半期に一度 《実績》4回

《目標》半期に一度 《実績》2回

《目標》年に一度 《実績》1回

ライフサイエンス分野におけるイノベーション創出に向けて①

◇ライフサイエンス分野における関西のポテンシャルの発信・強化

海外に訴求力のある大規模展示会やビジネスマッチングイベント等への参加により、関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを広く発信。国内外における関西の認知度・存在感の向上を図ることにより、域内への投資、企業立地の促進につなげ、域内関連産業の振興を図る。

《目標》BioJapanマッチング件数:参加企業数×6倍以上

《実績》183件(参加企業11社×16.6倍)

BioJapan 2022

- <開催日> 令和4年10月12日(水)～14日(金)
- <開催場所> パシフィコ横浜(横浜市西区)
- <主催> BioJapan組織委員会
(株)JTBコミュニケーションデザイン
- <来場者等> 出展社数832社 来場者数15,813人

医療と介護の総合展 大阪 (通称:メディカル ジャパン 大阪)

- <開催日> 令和5年1月18日(水)～20日(金)
- <開催場所> インテックス大阪(大阪市住之江区)
- <主催> RX Japan(株)
- <特別協力> 関西広域連合
- <来場者数> 連合ブース:3,170人 全体:8,254人

■BioJapanへの参加

海外展開や共同研究などに繋がるマッチング支援やセミナーを通じ、関西の強み・ポテンシャルを広く発信する。



(BioJapan会場での
連合セミナーの様子)

■メディカル ジャパン 大阪への出展

- ・関西のライフサイエンス分野の強み・ポテンシャルを映像やパネルなどによりわかりやすく紹介。
- ・産学官連携の事例紹介、医療機器等分野への参入促進や域内の大学・研究機関等が企業とのマッチングを希望する研究成果を発表するセミナーを会場とオンラインで実施。

◇欧州ライフサイエンス企業とのパートナーリングカンファレンスの実施【協調】

欧州のライフサイエンスクラスター・企業と域内企業等とのパートナーリングカンファレンスを実施。

<開催日> 令和4年10月11日(火) <実績> 参加企業・団体数:134社会・団体 面談数:260件

◇医療機器分野への参入に向けた医療機器相談の実施

ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するため、医薬品医療機器等法などの取り扱いに加え、知財や基盤技術、生産・管理、販売戦略など、事業化に向けた様々なステージにおける相談事業を実施する。

《目標》相談件数:250件以上

《実績》236件(うちオンライン223件)

<内 容> 相談業務、事業の周知活動 等

<開催場所> ターミナルなど交通至便な場所に加え
オンラインでの対応



(イメージ)

◇医薬品医療機器総合機構(PMDA)関西支部の活用促進【協調】

PMDA関西支部で実施している医薬品・医療機器・再生医療等製品の相談事業等について、周知・広報を行い、広域連合域内企業の活用促進を図る。

グリーン分野におけるイノベーション創出に向けて

◇「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施

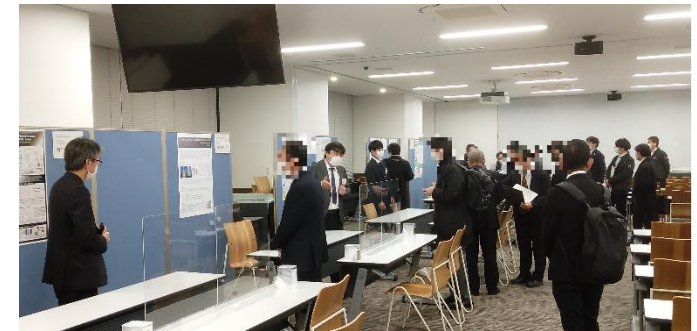
関西が高い産業ポテンシャルを有するグリーン分野において、域内を中心とした大学・研究機関等の研究成果を域内の企業に広く発信し、シーズの事業化を促進する。

《目標》 参加者数:200人以上
マッチング件数:フォーラム発表者(8人を想定)の7.4倍以上

《実績》 208人
34件(フォーラム発表者7人の4.8倍)

フォーラムの概要

- <開催日> 令和4年12月8日(木)
- <開催場所> 大阪工業大学 梅田キャンパス OIT梅田タワー
(大阪市北区)
- <テーマ> 水素・燃料電池、蓄電池等
- <内容> ・特別講演
・研究成果発表
・ポスターセッション
・交流会



(当日の様子)

◇エネルギービジネス推進事業【協調】

大阪府が設置している専門人材を活用したエネルギービジネス関連の相談窓口について、周知広報を行い、広域連合域内企業の活用促進を図る。

新たな分野でのイノベーションの創出に向けた環境整備

◇関西の産業力強化を目的とした広域的プラットフォーム構築事業

企業の事業化支援の更なる強化の観点から、従来の公設試による取組と域内の経営支援機関が展開する事業化支援の取組を有機的につなぎ、広域の事業化支援ネットワークの充実強化を牽引するプラットフォームの構築をオール関西で取り組む。

《目標》「かんさいラボサーチ」アクセス件数: 23,000件以上
産業技術支援フェア参加者数: 250人以上

《目標》23,668件
471人

<内容>

1 企業ニーズに応える事業化支援強化事業

- (1) 企業からの相談に対応し、企業の事業化レベルに応じて支援
(※「かんさいラボサーチ」のコンシェルジュ機能に加え、経営支援機関等と連携したトータルサポートを実施)
- (2) 公設試・産総研・大学等のシーズ(研究成果)を発掘するとともに、企業の事業化ニーズの探索を広く行い、双方をマッチング(※産業技術支援フェアの拡充を含む)
産業技術支援フェア in KANSAI 2021—ものづくり×「いのちに力を与える」—

<開催日> 令和4年11月11日

<開催場所> 大阪産業創造館(大阪市中央区)

- (3) 委託事業者と連携し、シーズ・ニーズの発掘を行う

2 広域的プロジェクト組成に向けた調査事業(※委託事業)

3 公設試・連携機関との連携促進のための活動・PR等

(チラシ)

◇関西プラスチックごみゼロ推進事業

海洋プラスチック問題などの地球規模の環境問題の解決に向けた COP21での「パリ協定」の採択、G20大阪サミットでの「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」など、国際的な長期目標が設定される中、関西広域連合においても「関西プラスチックごみゼロ宣言」を発出し、プラスチックごみゼロに向けた各種活動や普及啓発に取り組んでいる。

規制や啓発といった環境政策面の取組と並行し、プラスチックに代わる素材や製品の開発に向けた情報提供や研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等、産業振興の側面からの取組を進めていく。

《目標》 展示商談会等の総来場者数：1,000人以上

《実績》 1,566人（うちオンラインマッチングのページ視聴者数475PV）

<内容>

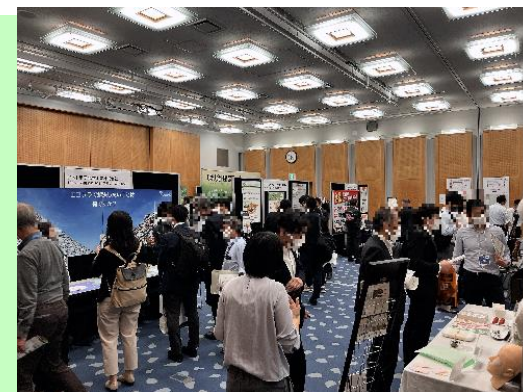
- ・代替プラスチックの開発動向・技術シーズ等情報提供、研究開発支援
- ・開発製品等のプロモーション支援 等

【SDGs対応技術展2022】

<開催日> 令和4年10月20日(木)～21日(金)

<開催場所> 大阪産業創造館(大阪市中心区)

<実績> 出展社数:48社 マッチング仲介件数:276件



(会場の様子)

地域魅力の発信・マーケットの拡大支援

◇ものづくりをはじめとする地域魅力の発信

デザインや実用性に優れた関西の工業製品などの産業資源をはじめとする関西の持つ魅力やポテンシャルを国内外に広く発信するプロモーション活動を展開する。

【国内プロモーション実施(首都圏)】

- ＜開催日＞令和4年12月27日～令和5年1月31日
- ＜開催場所＞誠品生活日本橋(コレド室町テラス内)
- ＜テーマ＞KANTABI～関西のものづくりを巡る旅～
- ＜参加事業者数＞22社
- ＜来場者数＞15,540人(ECサイトアクセス数261件)

【海外プロモーション実施(フランス)】

- ＜開催日＞・パリ展 : 令和4年11月2日～同月19日
- ・地方都市展: 令和4年11月25日～12月2日
- ・WEB展 : 令和4年11月2日～令和5年3月5日
- ＜テーマ＞『第10回「伝統と先端と」～日本の地方の底力～』
- ＜内容＞展示会への出展支援等を行うことで、
域内ものづくり企業の海外販路開拓を支援
- ＜参加事業者数＞9社(前年度参加事業者16社より募集)

【「CRAFT14」等の情報発信】

上記国内・海外プロモーションにてパンフレットの配布及びHPやSNSを活用した情報発信を実施

《目標》「CRAFT14」HP アクセス件数: 4,300 件以上

《実績》 3,020件



(チラシとイベントの様子)

《目標》海外でのリアル展示会販売会場における関西
広域連合ブースへの総来場者数: 1,000 件以上

《実績》カウント不可(主催者の都合により連合のブース
出展ができなくなったため)

＜参考＞会場全体の来場者数約8,700人



(展示会の様子)

◇企業の成長支援機関の活用促進【協調】

域内企業の成長を支援する機関(※)が行う取組について、周知・広報を行い、その活用促進を図る。

(※)

- ・ INPIT近畿統括本部 (INPIT-KANSAI)
- ・ 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) 関西支部 (再掲)
- ・ 日本国際紛争解決センター
- ・ 航空産業非破壊検査トレーニングセンター
- ・ 製品評価技術基盤機構 (NITE) 大阪事業所
- ・ 京都国際調停センター 等

◇産学連携促進事業【協調】

事業主体: 大阪産業局

大学や高等専門学校と連携して実施するセミナー等の産学連携事業について、周知・広報を行い、広域連合域内企業等の活用を促進する。

◇海外ビジネスサポートデスクの共同利用【協調】

構成府県市が設置している海外の企業支援拠点(ビジネスサポートデスク)の一部について、共同利用を実施し、中小企業等の海外展開を支援する。

(設置地域) インド、タイ、ベトナム、ミャンマー、中国(上海)、台湾

人材の確保・育成施策の推進

◇人材検討会の運営

人材に関するテーマを設定の上、支援機関、金融機関、企業等からの情報提供、意見交換をはじめとする交流型の勉強会等を実施、構成府県市における施策展開につなげる。

人材不足に悩む中小企業の課題解決に役立つセミナーを実施

<開催日> 令和5年2月28日(ライブ配信)

<テーマ> 『「採用」以外に、優秀な人材確保をする方法があるのをご存じですか?』

<内容> 企業のユニークな取り組みの事例

コロナ後に大きく変化した人材市場の最新の動向

<対象> 中小企業の経営者、採用・人事担当者、その他

<視聴者数> 31人



(チラシ)

《目標》 産業人材HPアクセス件数: 2,600件以上

《実績》 2,535件

◇ビジネス情報紙「from NOW ON KANSAI」の発行

関西広域連合域内における人材の育成・確保やスモールビジネスの発掘に資することを目的として、域内の大学や経済団体、企業の取組で、参考となる好事例等の情報を収集し、「from NOW ON KANSAI」として発行する。

- ・ VOL.07(令和4年11月) 「山づくりを通して土砂災害による人的被害ゼロを目指す」
- ・ VOL.08(令和4年12月) 「どんなときも、誰もが、自分らしく輝ける『笑顔あふれる社会』の実現を目指す」
- ・ VOL.09(令和5年2月) 「日本人も外国人も関係なく、全員が等しく働きやすい職場づくりで発展を目指す」

《目標》 「from NOW ON KANSAI」発行回数: 3回以上

《実績》 3回

情報発信機能の強化

◇広報活動の実施(650千円)

広域産業振興局や構成府県市の施策について、ホームページやメールマガジンの発行等を通じて、域内外に向け、最新情報の提供を行う。

《目標》 広域産業振興局HPアクセス件数:30,000件以上

《実績》 29,922件

広域産業振興の取組に係る評価・検証

◇「関西広域産業ビジョン」推進会議の運営

ビジョンに掲げた戦略に基づく取組の評価・検証に対する助言を受けるとともに、ビジョンの推進に係る意見交換を行うため、「関西広域産業ビジョン」推進会議を運営する。

<「関西広域産業ビジョン」推進会議 委員>

(学識経験者)

甲南大学 名誉教授
兵庫県立大学名誉教授、
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 特任教授
関西学院大学商学部 教授

稲田 義久 氏

加藤 恵正 氏
川端 基夫 氏

(経済団体)

徳島県商工会議所連合会 専務理事
鳥取県商工会議所連合会 幹事長
公益社団法人関西経済連合会 理事・産業部長
近畿府県商工会連合会連絡協議会 理事
大阪商工会議所 理事・総務企画部長

小笠 恭彦 氏(徳島商工会議所 専務理事)
中山 孝一 氏(鳥取商工会議所 専務理事)
野島 学 氏
早川 巖 氏(大阪府商工会連合会 会長)
丸山 新二 氏(関西商工会議所連合会 事務局)

(官公庁)

近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長

大平 昌幸 氏

(50音順、令和5年3月31日現在)

「関西広域産業ビジョン」の改訂

◇「関西広域産業ビジョン改訂委員会」の運営

ビジョン改訂に向けた検討を行うため、学識経験者等で構成する「関西広域産業ビジョン改訂委員会」を運営する。

<「関西広域産業ビジョン改訂委員会」委員>	
(学識経験者) 甲南大学 名誉教授 大阪学院大学商学部 准教授 大阪公立大学現代システム科学研究所 教授	稲田 義久 氏 葛西 恵里子 氏 水野 真彦 氏
(経済団体) 徳島県商工会議所連合会 専務理事 鳥取県商工会議所連合会 幹事長 公益社団法人関西経済連合会 理事・産業部長 近畿府県商工会連合会連絡協議会 副会長 関西商工会議所連合会 事務局	小笠 恭彦 氏(徳島商工会議所 専務理事) 中山 孝一 氏(鳥取商工会議所 専務理事) 野島 学 氏 早川 巖 氏(大阪府商工会連合会 会長) 丸山 新二 氏(大阪商工会議所 理事・総務企画部長)
(官公庁) 近畿経済産業局 地域経済部 地域開発室長	大平 昌幸 氏

(50音順、令和5年3月31日)